



明治大学校友会 千葉県西部支部
市川地域支部
第9回 総会資料



平成25年6月16日(日)

於：市川グランドホテル

明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第9回 総会・懇親会次第

第1部 総会

11:00～12:00

司会 伊与久副支部長

1. 開会の挨拶 月舘副支部長
2. 支部長挨拶 佐川支部長
3. ご来賓紹介 司会
4. 議長選出 佐川支部長
5. 議事録署名人選出 阿部、武士田幹事
6. 議事 第1号議案 平成24年度 事業報告 井上幹事長
第2号議案 平成24年度 収支決算報告 木川会計幹事
平成24年度 監査報告 阿部監査委員
第3号議案 平成25年度 事業計画(案) 井上幹事長
第4号議案 平成25年度 収支予算(案) 木川会計幹事
第5号議案 支部会則改正の件 月舘副支部長
第6号議案 支部役員変更の件 月舘副支部長
7. 報告事項 佐川支部長
8. 講演 私の体験について 市川地域支部 山田顧問
9. 閉会の挨拶 明村幹事

第2部 懇親会

12:00～14:00

司会 伊与久副支部長

1. 開会の挨拶 滝口幹事
2. 乾杯 川辺会員
3. ご来賓祝辞 行木西部支部長
4. 新入会員紹介 司会
5. 歓談
6. アトラクション 知里さんによるミニコンサート(市川出身)
7. 校歌斉唱 指揮 伊与久剛史氏
8. 閉会の挨拶 大越幹事

平成24年度 事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

1. 大学本部関係

- ・ 平成24年 7月28日(土) 支部長・地域支部長・本部員懇談会
- ・ 7月29日(日) 定時代議員総会
- ・ 9月8日(土) 支部長・地域支部長・本部員懇談会 (ホテルセンチュリー静岡)
- ・ 9月9日(日) 全国校友静岡大会 (静岡グランシップ)
- ・ 11月2日(金) 青木校友会名誉会長を偲ぶ会 (リバティタワー)
- ・ 平成24年 3月24日(日) 校友会卒業生歓迎会 (懇親会) (アカデミーコモン)

2. 西部支部関係

- ・ 平成24年 4月22日(日) 西部支部役員会 (紫紺館)
- ・ 4月29日(土) 我孫子地域支部総会 (けやきプラザ)
- ・ 5月13日(日) 柏地域支部総会 (三井ガーデンホテル柏)
- ・ 5月20日(日) 流山地域支部総会 (せきや)
- ・ 6月3日(日) 西部支部総会 (三井ガーデンホテル柏)
- ・ 6月10日(日) 船橋地域支部総会 (西船フローラ)
- ・ 7月21日(土) 西部支部役員会 (JX六本木クラブ)
- ・ 10月28日(土) 西部支部役員会 (紫紺館)
- ・ 11月18日(日) 松戸地域支部総会 (聖徳大学10号館)
- ・ 平成25年 1月19日(土) 西部支部役員会 (うえだ別館)
- ・ 2月2日(土) 千葉県東部支部新年会 (幕張グリーンタワーホテル)

3. 市川地域支部関係

- ・ 平成24年 5月8日(火) 役員会
- ・ 5月19日(土) 役員会
- ・ 5月27日(土) 第8回総会 (市川グランドホテル 61名参加)
- ・ 6月30日(土) 役員会
- ・ 8月25日(土) 暑気払い兼ボーリング大会 32名参加
- ・ 10月6日(土) 役員会
- ・ 12月7日(金) 役員会兼忘年会
- ・ 平成25年 2月3日(日) 市川地域支部新年の集い (うえだ別館 72名参加)
- ・ 3月24日(土) 役員会

4. 同好会関係

<カラオケ同好会>

- ・ 平成24年 6月10日(日) カラオケ大会
- ・ 9月30日(日) カラオケ大会
- ・ 12月 9日(日) カラオケ大会(忘年会・年間成績優秀者を表彰)
- ・ 平成25年 3月10日(日) カラオケ大会

<ゴルフ同好会>

- ・ 平成24年 6月 8日(金) 第21回ゴルフコンペ(成田東カントリークラブ)
- ・ 9月14日(金) 第22回ゴルフコンペ(山武グリーンカントリークラブ)
- ・ 11月30日(金) 第23回ゴルフコンペ(真名カントリー倶楽部)
- ・ 平成25年 3月29日(金) 第24回ゴルフコンペ(山田ゴルフ倶楽部)

<ハイキング同好会>

- ・ 平成24年 10月11日(日) サッポロビール千葉工場(船橋市)の見学会を実施
10名参加

<ボウリング同好会>

- ・ 平成24年 8月25日(日) ボウリング大会(本八幡スターレーン) 21名参加
兼 暑気払い(スペインカフェ・バルセロナ) 32名参加

5. 地域貢献活動関係

- ・ 平成24年11月 3日(土) 市川市民まつり参加
市川地域支部として明治大学と支部校友会の活動PR・支部校友会の会員募集を目的に市民祭りに参加した。会場の大洲防災公園のテントでは、明大グッズの販売、明大スポーツ新聞、学校案内、支部入会案内等を配布すると同時に会員の入会勧奨等を実施し、55名の会員が応援のため同テントに立ち寄り活動に参加した。

- 6 ・ 市川地域支部のホームページとブログが開設
平成25年1月 より 市川地域支部のホームページが開設され広報活動がより一層推進された。

平成24年度収支決算書
自平成24年4月1日至平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
年会費(3千円×154人)	462,000	総会費用(会場費、飲食代等)	425,450
総会会費(5千円×60人)	300,000	役員会議費	40,510
ご祝儀	80,000	サークル活動補助金	30,000
事業収入	515,000	通信費	61,500
受取利息	41	地域貢献活動費(市民まつり)	20,100
		消耗品費	3,700
		旅費交通費	30,000
		負担金(他校友会参加費)	94,000
		交際費	54,450
		事業費	542,050
		年会費振込手数料	8,030
		雑費	42,479
収入合計	1,357,041	支出合計	1,352,269
前期繰越収支差額	809,923	次期繰越収支差額 ※	814,695
合計	2,166,964	合計	2,166,964

※ 現金100,511円 郵便貯金714,184円

監査報告書

明治大学校友会市川地域支部会則第19条第1項の定めに従い、平成24年度の収支計算書につき、現金出納帳、証憑書類その他これらに関連する帳簿等を監査しました。

また、会務の執行については、役員会に出席して状況を把握するとともに、事業報告については担当役員から説明を求め、監査を実施しました。

監査の結果、収支計算書は平成24年度における収支の状況を適正に表示しており、会務は会則に準拠し、適切妥当に執行されてものであることを認めます。

平成25年 5月29日

明治大学校友会市川地域支部

監査委員

伊神 玲



監査委員

阿部 晃



平成25年度 事業計画 (案)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 第9回市川地域支部総会・懇親会の開催
 - ・ 平成25年6月16日(日) 11:00～総会 市川グランドホテル
 - 12:00～懇親会 //
 2. 役員会の開催
 - ・ 定例会は3ヶ月に1回、年4回開催予定(緊急必要時には、別途随時開催)
 3. 会員の親睦、交流の推進
 - ・ 市川地域支部会報「まつかぜ」の発行
 - ・ 会員相互の交流の場として、趣味・スポーツ等のサークル活動の充実と支部からの補助
 - ・ 新年会の開催 平成26年2月2日(日)
 - ・ ゴルフ同好会 年4回のコンペ開催と新年会・船橋地域支部合同コンペ開催
 - ・ カラオケ同好会 年4回の例会開催と忘年会
 - ・ ハイキング同好会 年1回開催
 - ・ ボーリング&ビアパーティーの開催
 - ・ 明治大学キャンパス巡り
 4. 大学関係への協力
 - ・ 校友会全国大会への協力参加
 - ・ 大学協力資金等の募金活動への協力
 - ・ 大学賛助となるための必要事業への協力
 - ・ 千葉県西部支部各地域支部および東部支部の行事への積極的な参加協力
 5. 市川市、地元への協力
 - ・ 市民まつり参加予定
 - ・ 地域貢献ボランティア活動(防犯パトロール等)
- ★ 平成26年12月7日(日) 「明大マンドリンクラブチャリティー公演」

平成25年度収支予算書(案)
自平成25年4月1日至平成26年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
年会費(3千円×160人)	480,000	総会費用(会場費、飲食代、印刷代等)	500,000
総会会費(5千円×65人)	325,000	役員会議費	30,000
		サークル活動補助金	50,000
		通信費	50,000
		地域貢献活動費(市民祭り)	50,000
		消耗品費	10,000
		旅費交通費	50,000
		負担金(他校友会参加費)	80,000
		交際費	60,000
		事業費	30,000
		手数料	10,000
		雑費	50,000
		予備費	30,000
収入合計	805,000	支出合計	1,000,000
前期繰越収支差額	814,695	次期繰越収支差額	619,695
合計	1,619,695	合計	1,619,695

第5号議案 支部会則改正

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- | | | |
|---------------------|------------|----|
| (1) 地域支部長 | 1名 | |
| (2) 地域副支部長 | 若干名 | |
| (3) 地域支部幹事長 | 1名 | |
| <u>(4) 地域支部副幹事長</u> | <u>若干名</u> | 追加 |
| (5) 地域支部幹事 | 若干名 | |
| (6) 地域支部監査委員 | 2名 | |

(選任)

第9条 地域支部長、地域副支部長及び地域支部監査委員は会員総会(以下「総会」という)で選任する。

- | | | |
|---|--|----|
| 2 | 地域支部幹事長は、地域支部長が指名し、総会の承認を得るものとする。 | |
| 3 | <u>地域支部副幹事長及び地域支部幹事</u> は地域支部長が指名し、総会に報告するものとする。 | 追加 |

(任期)

第10条 地域支部長、地域副支部長及び地域支部監査委員の任期は、就任後4回目に開催する定期総会終結のときまでとする。

- | | | |
|---|--|----------------|
| 2 | 地域支部幹事長、地域支部副幹事長及び地域支部幹事の任期は地域支部長の任期に準ずる。但し地域支部長が欠け、後任の <u>地域支部長</u> が選任された場合、地域支部幹事長、 <u>地域支部副幹事長</u> 、地域支部幹事は、後任の地域支部長が指名した地域支部幹事長、 <u>地域支部副幹事長</u> 、地域支部幹事が就任したときに退任する。 | 追加
追加
追加 |
| 3 | 補充により選任された役員の任期は前任者の残任期間とする。 | |

(名誉地域支部長・顧問・相談役)

第11条 本会に名誉地域支部長、顧問及び相談役を置くことができる。

- | | | |
|---|---|----|
| 2 | 名誉地域支部長、顧問及び相談役は、本会に特別の功労があった者の中から地域支部長が総会の同意を得て委嘱する。 | |
| 3 | 前項により委嘱された者の任期は <u>地域支部長</u> の在任期間とする。 | 追加 |

(役員職務)

第12条 地域支部長は本会の会務を総理し、本会を代表する。

- | | | |
|---|--|----|
| 2 | <u>地域副支部長</u> は、地域支部長を補佐し、地域支部長に事故あるときは予め地域支部長が指名した順位に従い地域支部長の職務を代行する。 | 改訂 |
| 3 | 地域支部幹事長は、地域支部長の指示に従い本会の運営にあたる。 | |
| 4 | <u>地域支部副幹事長</u> は <u>地域支部幹事長</u> を補佐する。 | 追加 |
| 5 | 地域支部幹事は地域支部長の指示により本会の職務を分担する。 | |

第6号議案 役員変更

副支部長を一名追加 右田滋幸(S38年、法学部卒)

市川地域支部役員名簿

役職	氏名	卒年	学部	住所
顧問	山田 憲典	S35	法	市川市中国分
名誉支部長	行木 勝雄	S35	法	市川市中国分
支部長	佐川 清	S33	経営	市川市本北方
副支部長	小菅 公	S30	政経	市川市北方
副支部長	月舘 光治	S32	法	市川市北国分
副支部長	右田 滋幸	S38	法	市川市北国分
副支部長	高梨 政夫	S40	商	市川市北方
副支部長	伊与久 美子	S42	文	市川市曾谷
幹事長	井上 喜久男	S41	経営	市川市真間
副幹事長	高橋 一郎	S52	工	市川市妙典
副幹事長	阿部 千尋	S56	法	市川市大洲
幹事	平野 博	S37	商	市川市菅野
幹事	芹川 恵一	S37	商	市川市市川南
幹事	米倉 廣幸	S44	法	市川市八幡
幹事	大越 信夫	S45	政経	市川市大和田
幹事	中原 忠良	S46	経営	市川市堀之内
幹事	明村 澄雄	S47	政経	市川市下貝塚
幹事	湯浅 起市郎	S49	工	市川市鬼越
幹事	笠原 智	S49	農	市川市塩焼
幹事	滝口 利子	S55	商	市川市市川南
幹事	川島 康男	S60	商	市川市本北方
幹事	武士田 卓志	S62	法	市川市国分
幹事	萩原 輝美	H5	短法	東京都中央区築地
幹事	上田 栄一郎	H7	農	市川市八幡
幹事	金子 明	H8	商	市川市中国分
会計幹事	木川 正博	S63	政経	市川市大野町
会計幹事	大坪 恭也	H11	商	市川市柏井町
監査委員	伊神 玲子	S27	商	市川市須和田
監査委員	阿部 晃	S34	政経	市川市平田

心を熱き!! 謳え

明治大学校歌・應援歌集

—明治大学應援團—

明治大学校歌

児玉花外 作詩
山田耕 作曲

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が

撞くや時代の暁の鐘

文化の潮みちびきて

遂げし維新の栄になふ

明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

二、権利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり

独立自治の旗翳し

高き理想の道を行く

我等が健児の意気をば知るや

我等が健児の意気をば知るや

三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり

いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

明治大学校歌

「白雲なびく駿河台……」の名文句、

名調子による我が明治大学の校歌は、

日本三大校歌の一つにかぞえられ、全

国津々浦々に知れ渡っている。又、校

歌物語を引用すると……。

一九二十年の春、当時まだ学生であ

った武田 猛氏（元明治大学総長）と

級友 牛尾哲造氏 とが中心となって、

校歌を作成することになった。そして、

作詞を詩人 児玉花外先生 に、作曲は

当時楽壇のホープとして注目されてい

た、山田耕作先生 に依頼することと

なり、この年の秋、隅田川の大学対抗

ポートルースで初めて全学生の校歌と

して発表された。等、等、

そのエピソードは波乱に満ち、維新

以来先哲のあるいた幾多の伝統の重み

が格調高かつたわってくる。

神宮球場で勝利の瞬間に聞く校歌は、

明大生である喜びを誇るかの如く力強

く鳴り響くのである。



発行：明治大学校友会 千葉県西部支部 市川地域支部